

原峠保養園だより

平成 29 年度

1 学期のこと



4月 「みずくれで 花がよろこぶ きれいだな(小 6 男子)」

- 6日 入学式・始業式 上田第四中学校原峠分室1名、上田千曲高校1名、小諸商業高校1名入学。
- 7日 ” 上田養護学校高等部4名入学。
「はじまりは 不安がいっぱい 新学期(高 1 女子)」
- 15日 お花見 上田城跡公園へお花見に行く。人も多く混んでいたが、自分の小遣いで好きな物を屋台で選び、お花見の雰囲気を楽しんできた。「さくらの花 うすいピンクが きれいだよ(小 4 女子)」
- 25～27日 修学旅行 上田養護学校3年生2名、2泊3日で東京方面に行く。
- 29日 野外炊飯 避難訓練を行い、その後災害時を想定して野外炊飯を行う。今回は缶詰を使い一緒に炊き込んだりし、各班で工夫して食べた。「身を守る 避難訓練 大事な(中 3 男子)」「火事のため 日々訓練し そなえよう(中 2 男子)」「非常時は あわてずさわがず 冷静に(高 1 女子)」



5月 「新緑が つくる木陰に 初夏を見る(高 1 女子)」

- 2日 分室遠足 原峠分室5名が武石森林公園ともしび博物館へ行き、ろうそく作りや火おこし体験を行った。
- 4日 外出 リフレッシュパーク青木へお弁当を持って出掛けた。子ども達が分担して作ったお弁当は特別においしかった。食後はアスレチックやローラー滑り台で体を動かして楽しんだ。
- 5・6日 映画 2日に分けて好きな映画を選び観に行く。ポップコーン片手にゆっくり映画を楽しんだ。
- 21日 野球観戦 招待で上田県営球場へ信濃グランセローズの試合観戦に行く。球速当てゲームに4人参加し、小4女子が申告誤差1キロで優勝し景品をもらう。試合中は大声で夢中になって応援し、勝ち試合を観ることができ喜んでいた。



6月 「つゆになり はっばのうらに かたつむり(小 5 女子)」

- 3日 城下小学校運動会 短い時間の中で、精一杯練習し当日に臨んだ。それぞれ取り組んでいる姿から一生懸命さが伝わってきた。来入児の女兒も旗拾いに参加した。
- 24日 初夏祭り 今年もたくさんのお客さんが来て下さり賑わった。子ども達、職員も一丸となって楽しい祭りになるよう工夫し、皆が笑顔になる初夏祭りとなった。「初夏祭り みんな笑顔に できたかな(高 1 男子)」「初夏祭り みんなきょうりよく がんばった(小 4 女子)」「初夏祭り 笑顔で帰る お客さん(小 5 女子)」「初夏祭り 楽しかったよ うれしいね(高 2 女子)」
- 29～30日 高原学習 城下小5年生2名、1泊で湯の丸高原に行く。



7月 「なつはねえ たのしいことが たくさんだ(高 3 男子)」

- 6～9日 高校文化祭 6～7日は小諸商業高校、7～9日は上田千曲高校

- 19～20日 校外学習 上田養護学校高等部2年生1名、1泊で松本方面に行く。
- 21～22日 お泊まり保育 たちばな幼稚園年長さん1名、幼稚園で1泊する。きもだめしや花火を行った。
- 24日 分室校外学習 美ヶ原方面へ行く。そば打ち体験で自分で打ったそばを食べてきた。
- 25・26日 職場体験 上田第四中学校2年生2名。それぞれ本屋、ホテルに行く。普段できない体験をした。
- 29日 じゃがいも掘り 朝 5 時に起きてじゃがいもを収穫した。今年はキタアカリ、キタカムイ、男爵の 3 種類。みんな一所懸命作業に取り組んだ。大きなものがたくさん採れた。



「やさいにも 自分の個性 ありました(高 1 女子)」「いもほりで おかしな形 見つけた(中 2 女子)」

これからの予定

- 8/5 上田花火大会
- 8/5～20 帰省
- 9/6 遠足
- 9/13～15 分室 3 年生修学旅行、14 日は 1・2 年生職業体験
- 9/29～30 上田第四中学校文化祭(セルリアン祭)
- 9/23 原峠運動会
- 10/13～14 上田養護学校よつば祭り



1 学期のまとめとして (園長より)

暑い季節の夏がやってきました。子どもたちはそれぞれ自分のめあてに向かって精一杯頑張った 1 学期が終わり、夏休みに入りました。学校からいただいた「家庭通知」(通知票)には、がんばったことと共に今後の課題となることなども記されていました。それらをもとに有意義な夏休みをいかに過ごすかを職員ともども考えています。長い休みにはいつもよりはお友達という時間が長くなるのでちょっとした気持ちのズレからトラブルに発展することもあるかもしれませんが、行事等を通じてみんなでのコミュニケーション能力を高めて楽しい園生活にしたいと思います。またこの期間、帰省して家族との交流を深めるお子さんもいます。家庭復帰というゴールをめざし、親子ともども課題を見据えて有意義にお過ごしください。夏野菜も収穫の時期をむかえています。収穫の喜びを感じると共に、食に対する感謝の気持ちを忘れずに心身共に大きく成長していきたいと思ひます。温かいご支援に感謝しながら……。

『never too late』 田臥雄太

直訳すると『決して遅すぎるということはない』になるかと思ひます。



日本サクラソウ



レンゲツツジ



様々なツツジが咲いています。